



Hello Hong Kong 2015

香港でのピアノ管理 Piano Fairy のいい音のお話

亜熱帯気候に属する香港は、気温・湿度がとて高く、晴れていても常に湿度が80%以上あります。初めて香港に來られた方は、ジメジメな空気がまわり付くような暑さを感じられたのではないのでしょうか。そんな気候は、楽器たち、ピアノにとっても、とてもストレスで音の動きが出やすい環境です。今日はピアノ・フェアリーと一緒に、そんな香港でのピアノ・ライフを快適に過ごすコツをお話します。

ピアノはなぜそれほどまでに人々を魅了してきたのでしょうか。

アコースティックピアノは、響板に張られた弦が振動して音が出ます。美しいきれいな音は、弾いていない弦にも自然に共鳴し、弾き方によって音色が変わりますので、自分で曲想をつけて豊かに表現することが出来る楽器です。そして、ピアノは簡単に音が出せる楽器でもあります。弦楽器や金管楽器のように音を出して音階を奏でるまでに一苦労する楽器もありますが、ピアノは初めて弾く人でも鍵盤を押すだけでちゃんと音程を奏でることが出来るので、小さな子供さんにも親しみ易いですね。簡単に音の出るピアノですが、箱の中は5,000以上からなる部品で出来ており、弦が220本以上も張られています。1本の弦につき張力は約75〜95キロ、なんと、総張力は約20トンにもなります。構造は繊細で複雑なため、調律・メンテナンスがなければ音程を正しく保つことができません。

ピアノのメンテナンスとはどのようなことをするのでしょうか。

ピアノは弦振動によって音を出す楽器なので、弦楽器としての特質を持っています。パイオリンやギターのように音あわせ・チューニングが必要なのは皆さんもご存知ですね。ピアノは静かに座っているように見えますが、弦の張力が平均80キロの箱の中は、絶えず強い力の引く張り合いが行なわれていて、厚み1センチほどのピアノの心臓部「フレーム」と呼ばれている響板を、たえず押し続けているような状態です。弾いていなくても強い張力と湿度・湿度の変化から、この緊張のバランスが自然に崩れてしまいます。弾いている時の打鍵による衝撃もかなりあるので、定期的に調律を行なう必要があるのは、そのためです。



その220本以上ある弦のバランス、音程を整える作業が調律「Tuning」です。しばらくお手入れの期間が空いてしまったピアノは音の乱れがそれほど気にならなくても、全体のピッチが下がっていることが多く、気がつかないで楽譜に書かれたのとは違う音程で弾いていることも。

また、ピアノの音程が正確になったとしても、鍵盤の動きがスムーズでなかったら音を出すことができません。ピアノの中にはアクション「Action」と呼ばれるメカニカル部分がありますが、それを

演奏する上で最適な状態に整える作業が調整「Actioning」です。弾く人が鍵盤を押した時に、表現したい音、そのエネルギーを適切に音として発せられるように調整します。そして、その楽器の持っている音を引き出しながら音色を作り出す作業の整音「Voicing」があります。これらがバランスよく整えられて、ピアノは美しい音色を奏でます。

定期的に調律・メンテナンスをすることで、音程が安定し、季節が変わることにお部屋の環境を見ながらメカニカル部分の状況を確認できますので、なんらかの不具合の予測にも繋がります。特に香港のような湿度が高い気候では年3回のメンテナンスが必要になります。ピアノのお医者さんによるピアノの健康管理はとて大切ですね。

実は私たちは、耳だけでなく身体でも音を聴いています。良い音の振動は波動となって私たちの身体全体に響きます。楽器が生まれてから300年近く経った今でも愛され続けているのは、そういった美しい音の響きがあるからではないのでしょうか。そして、澄んだきれいな音は、お部屋の空気の流れも変え、お部屋もきれいになります。ご自宅にあるピアノから、いい音のある生活を、心と身体の健康に繋げてみてはいかがでしょうか。

さあ皆さん、香港で素晴らしい音楽、ピアノ・ライフを一緒に楽しみましょう。

執筆協力
88KEYS Ltd.
ピアノ調律技術者
大波孝理
☎ 9687 0726
www.88keys.com.hk
info@88keys.com.hk
電話帳 74 ページ参照